

■ 目次

【各注意事項】

- 免責事項について……………P1
- 使用前のご注意……………P2
- 使用上のご注意……………P2～P3
- 取り付け前に確認してください……………P4
- フロントカメラについて……………P4
- 液晶モニターについて……………P4
- リアカメラについて……………P5
- アクセサリーソケット電源について……………P5
- 録画について……………P5
- GPSについて……………P5
- リバース連動機能について……………P6
- カメラレンズについて……………P6
- アイドリングストップ車について……………P6
- microSDカードについて……………P6

【製品・取り付けに関して】

- 製品外観・内容物……………P7
- microSDカードの挿入と取り出し……………P7
- 取り付け配線イメージ……………P8
- フロントカメラの取り付け方法……………P8
- リアカメラの取り付け方法……………P9
- GPSアンテナの取り付け方法……………P9
- アクセサリーソケットへの接続……………P9
- リバース連動ケーブルの接続……………P10

【使用に関して】

- 電源ON/OFF 液晶モニター/アイコン……………P10
- ホーム画面……………p11
- 設定画面……………p11
- 再生ソフトのインストール……………P12～p13
- 再生方法……………P14
- 保証規定……………P15

■ 免責事項について

- ・本製品の故障や使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、当店では一切の責任を負いません。
- ・本製品が記録したデータは事故の証拠としての効力が保証されるものではありません。
- ・本製品は全ての状況において映像やデータを記録することを保証するものではありません。
- ・本製品を使用してデータなどが消失した場合、当店では一切の責任を負いません。
- ・正しく本製品が取り付けられていない場合、落下する恐れがあります。取り付け車両への損傷、破損による損害については、当店では一切の責任を負いません。
- ・使用環境や天候により正しく記録できない場合がありますが、当店では一切の責任を負いません。
- ・LED方式の信号機は録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それに起因する損害については、当店では一切の責任を負いません。
- ・本製品で記録した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当店では一切の責任を負いません。
- ・本製品は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合、当店では一切の責任を負いません。

MEMO

■使用前のご注意

- ・本製品使用中の交通事故、交通違反に関しては、当店では一切の責任を負いかねます。運転時は交通ルールを守り、車間距離や周囲の状況に注意して安全運転に努めてください。
- ・本製品は全ての状況においての映像やデータを記録することを保証するものではありません。
- ・記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、当店では一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の映像やデータの記録は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- ・本製品を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、破損、事故などの損害に関しては、当店では一切の責任を負いかねます。
- ・本製品の仕様および取扱説明書の仕様に関して、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・取扱説明書に記載されているイラスト(製品・付属品・設置・配線・表示画面など)はイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- ・安定的な動作のため、microSD/microSDHC/microSDXCカード(以下、microSDカードと記載)は定期的(1~2週間)にフォーマットをおこなうことをお勧めいたします。
- ・microSDカードは消耗品です。長期間使用すると保存機能に問題が発生する恐れがありますので定期的な交換をお勧めいたします。
- ・microSDカードに起因する記録データの損傷、消失につきましては、当店では一切の責任は負いません。

■使用上のご注意

・安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。ご使用前に使用上の注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。以下の表示区分は、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



禁止

してはいけない、「禁止」内容です。



強制

必ず守っていただく、「強制」内容です。



注意

「注意」しなければならない内容です。



警告



禁止

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険をおよぼす場所には取り付けないでください。事故やケガの原因となります。



強制

運転者は走行中に操作をしない、または画像表示を注視しないでください。交通事故の原因になります。必ず、安全な場所に停車し、操作してください。



強制

取り付け・配線後は、車両の電装品が正常に動作することを必ず確認してください。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。



禁止

車両の保安部品(ステアリング、ブレーキ等)のボルトやナットを使用して取り付けないでください。事故の原因となります。



禁止

車両の安全装置の動作を妨げる場所には取り付け・配線を行わないでください。事故やケガの原因となります。



強制

規定容量のヒューズを必ず使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると火災や発煙、発火、故障の原因となります。



強制

ケーブル類は運転や乗り降りの妨げにならないように配線してください。ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル、足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなど、配線処理をしてください。



警告

- ❗ **強制** 取扱説明書に従って正しく配線・取り付けを行ってください。火災や事故の原因になります。
- ❗ **強制** 国産車(右ハンドル)、DC12V/24V車で使用してください。外車など、それ以外の車には使用できません。
- ❗ **強制** 配線・取り付け作業中は必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。ショートによる感電やケガの原因となります。
- 🚫 **禁止** 分解や改造はしないでください。故障、火災、感電の原因になります。
- 🚫 **禁止** 故障や異常のまま使用しないでください。
画面が表示されない、異常な動作をする、異臭や煙が出るなど異常を感じた場合には直ちに使用を中止してください。発火などの原因になります。
- ❗ **強制** 製品内部に水や異物を入れないでください。
動作不良の原因やショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。
- 🚫 **禁止** 乳幼児の手の届くところに置かないでください。
誤飲、ケーブルでの窒息などによるケガ、事故の原因になります。
- 🚫 **禁止** 車載用(四輪車)以外に使用しないでください。発煙、発火、感電、故障、ケガの原因になることがあります。
- 🚫 **禁止** 強い衝撃を与えないでください。故障や火災の原因になることがあります。
- 🚫 **禁止** ケーブルを挟み込んだり、引っ張ったり、キズをつけないでください。
ショートや断線により発煙、発火、故障の原因となります。
- ❗ **強制** 必ず付属品や指定の部品を使用してください。
機器の損傷や、しっかりと固定できず機器が脱落したり、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- ❗ **強制** 水のかかる場所や湿気・ホコリの多い場所に取り付けしないでください。
発煙、発火、感電、故障、ケガの原因となります。
- ❗ **強制** 振動の多い場所や不安定な場所に取り付けしないでください。
走行中にはずれたり、落下、事故やケガの原因になることがあります。
- ❗ **強制** 液晶画面に表示される画像とミラー表示は異なります。あらかじめ違いを確認してください。
- ❗ **強制** 運転中は周囲の安全を直接確認してください。本製品のカメラは死角を完全にカバーするものではありません。
運転中は必ず、周囲の安全を直接確認しながら運転してください。



注意

- ⚠ **注意** 一定以下の衝撃では、衝撃感知録画されない場合があります。
重力センサーは、小さな衝撃では衝撃感知録画がされない場合があります。必要な記録データはロックをおこなうか、保存をおこなってください。
- ⚠ **注意** 運転前に必ず、正常に取り付けられているかを確認してください。
正常に取り付けられていない場合、脱落したり、事故や故障の原因になることがあります。
- ⚠ **注意** 車両のガラス面、本製品のレンズ表面をきれいに保ってください。
ホコリや異物による反射や屈折現象できれいに記録できない場合があります。
- ⚠ **注意** 本製品は日本国内のみで使用してください。海外ではご使用にならないでください。

■取り付け前に確認してください

- ・道路交通法および関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けてください。
- ・取り付け前に必ず、各ケーブルが接続でき、操作が行える位置であることを確認してください。
- ・本製品は防水防塵構造ではありません。雨など水で濡れない車内に取り付けてください。
- ・配線処理は運転や乗り降りの妨げにならないように、しっかりと処理してください。
- ・各配線が引っ張られた状態で配線の取りまわしを行うと、断線や接触不良により正しく動作しない可能性があります。
- ・車の各種センサー装置（安全支援装置、無線通信機など）に干渉しない場所に取り付けてください。
- ・シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には取り付けないでください。
- ・精密機器のため、強い衝撃を与えないでください。
- ・本製品の付属品は他の製品に使用しないでください。

■フロントカメラについて

- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・カメラレンズ周囲には他のものを設置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・車検証ステッカーなどに重ならないように取り付けてください。
- ・強い衝撃を与えないでください。故障・破損の原因となります。
- ・他の車載器や無線通信機、テレビ、ラジオなどの近くで使用すると、相互に影響を与える場合があります。
- ・純正ルームミラーの形状や周囲の干渉物によっては、取り付けができない場合があります。
- ・純正ルームミラーへの取り付けは、固定バンドで確実に行ってください。不備があると走行中に脱落する恐れがあります。
- ・本製品は純正ルームミラーに取り付ける仕様のため、走行中の振動などで揺れたり傾いたりする場合があります。
- ・ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けしないでください。降雨時に映像が不鮮明になります。
- ・上下方向を確認し、正しい向きで取り付けてください。
- ・ミラーで後方がしっかり見えるように調整してください。
- ・本製品のミラーは純正ミラーと距離感・視界が異なります。
- ・カメラ映像は実際の距離感・視界と異なるため、十分にご注意ください。
- ・広角レンズの特性により、映像にゆがみや遠近感の違いが生じることがあります。
- ・取り付けや角度調整時は、必ず純正ルームミラーを持ちながら作業してください。
- ・GPS機能付き製品やVICS受信機に影響を与える可能性があります。
- ・各種センサー装置の機能を妨げないように取り付けてください。
- ・固定バンドは長期間の使用で劣化する恐れがあります。走行前にしっかり固定されているか確認してください。
- ・本製品を取り付けると、純正ミラーの防眩機能は使用できなくなります。
- ・他製品のカメラやGPSアンテナ、電源を接続しないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- ・紫外線の影響により、本体が色あせする場合があります。

■液晶モニターについて

- ・同じ画像を長時間表示すると、焼き付きが起こる可能性があります。
- ・一部の画素が点灯しない、または常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。
- ・偏光サングラス使用時、表示が見えにくくなる場合があります。
- ・周囲温度が-10℃以下または60℃以上になると、表示が遅延したり消えたりすることがありますが、温度が戻れば正常に戻ります。
- ・太陽光や照明の反射により、画面が見えにくくなる場合があります。
- ・サンルーフ車では、ルーフシェードを閉めて使用してください。
- ・純正ミラーとの見え方の違いにより、目が疲れたり距離感が異なって見える場合があります。
- ・明暗の変化によりノイズが発生することがありますが、故障ではありません。
- ・夜間は色味の違いやライトの影響で映像が白くぼやけることがあります。
- ・映像を長時間表示すると発熱することがありますが、異常ではありません。
- ・年齢や体調により焦点が合いにくい場合があります。ミラーモードに切り替えてください。
- ・同乗者が画面を凝視すると車酔いを起こす恐れがあります。
- ・映像は現実の風景と異なる場合があります。
- ・映像処理により、表示が滑らかでない場合があります。
- ・汚れは市販のガラス用クリーニングクロスで清掃してください。

■リアカメラについて

- ・本製品専用のリアカメラです。他製品に接続しないでください。
- ・映像が上下逆にならないよう、取り付け前にモニターで確認してください。
- ・取り付け位置により、光の反射や暗さの影響を受ける場合があります。
- ・スモークガラス越しでは映像が暗くなることがあります。
- ・電源ON中にリアカメラケーブルの抜き差しは行わないでください。
- ・死角を完全にカバーするものではありません。後退時は必ず目視で安全確認を行ってください。
- ・車内専用です。車外には取り付けしないでください。
- ・取り付け面の油分や汚れを拭き取り、確実に貼り付けてください。
- ・両面テープが定着するまでは無理な力を加えないでください。
- ・配線がバックドアの開閉を妨げないように処理してください。
- ・取り付けや配線が困難な場合は、車両販売店や専門業者へご相談ください。

■アクセサリソケット電源について

- ・本製品は国産車専用です。輸入車でのご使用によりトラブルが発生した場合でも、当店では一切の責任を負いません。
- ・一部の国産車でも、アクセサリソケットの形状が適合しない場合があります。
- ・車のキーを抜いても常時電源が供給される車種では、降車時に必ず本製品の電源をOFFにするか、電源プラグを抜いてください。
- ・本製品の電源プラグは、車両のアクセサリソケットに直接接続してください。
- ・市販の分岐アクセサリソケットアダプタには接続しないでください。電源供給不足により正常に動作しない場合があります。
- ・カメラ映像にちらつきが発生したり、故障や誤作動の原因になる場合があります。
- ・使用しない時は、電源プラグをソケットから抜いてください。

■録画について

- ・本製品は事故の証拠としての効力を保証するものではありません。
- ・すべての状況下で録画を保証するものではありません。
- ・故障や使用による損害、録画映像の破損・損傷による損害について、当店は一切の責任を負いかねます。
- ・動作確認のために急ブレーキなどの危険な運転は絶対に行わないでください。
- ・録画された映像がプライバシーを侵害する可能性があります。取り扱いにはご注意ください。
- ・LED信号機では画面がちらつき、色の識別ができない場合があります。
- ・走行中に本製品を操作したり、液晶モニターを注視しないでください。
- ・操作や静止画撮影を行う際は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- ・夜間にノイズが入ったり、映像が赤くなることがありますが、カメラの特性によるもので故障ではありません。
- ・起動後、microSDカードの読み込みに時間がかかる場合があります。録画が開始されていることを必ず確認してください。

■GPSについて

- ・GPS (Global Positioning System) は、アメリカ国防総省の衛星を利用して現在位置を測位するシステムです。
- ・トンネル内、ビルの谷間、山間部などではGPS電波を受信できない場合があります。
- ・衛星の受信状態により、約50～100m程度の測定誤差が発生することがあります。
- ・GPS電波を受信できない場所では、自車位置が測位されない場合があります。
- ・表示される速度はスピードメーターと異なる測定方法のため、差が生じることがあります。
- ・停車中でも速度表示が0km/hにならないことがありますが、これはGPSの受信誤差によるものであり、故障ではありません。
- ・録画データに記録される日時・速度・位置情報はGPS測位に基づくため、実際と異なる場合があります。
- ・GPSユニットを布などで覆わないでください。受信性能が低下します。
- ・フロントガラスにコーティングや特殊加工が施されている場合、GPS受信に影響が出ることがあります。
- ・GPSアンテナは、ETC・TVアンテナ・ナビなどの車載機器から離して設置してください。
- ・GPS電波の受信環境により、起動時間や受信までの時間が長くなる場合があります。
- ・最後に電源をOFFにした場所と次にONにした場所が離れていると、受信に時間がかかることがあります。
- ・車載センサーやカメラの近くに設置すると、ノイズ干渉により測位しづらくなる場合があります。
- ・ナビやTVチューナーなどの電波干渉により、GPSが受信できない場合があります。
- ・長期間使用しないと、GPS受信に時間がかかることがあります。
- ・GPSが受信できない場合、速度・日時・位置情報の記録は行えません。

■リバース連動機能について

- ・バックギアに入れることで、リアカメラの映像を液晶モニターに表示できます(※リバース連動ケーブルの配線作業が必要です)。
- ・リアカメラ映像だけを見て後退することは絶対におやめください。
- ・後退時は必ず目視で後方を確認し、安全を確保したうえで運転してください。
- ・リバース連動映像はあくまで補助としてご使用ください。

■カメラレンズについて

- ・カメラレンズに汚れや傷があると、映像が不鮮明になる場合があります。
- ・レンズの向きが正しくなるように取り付けてください。
- ・レンズ周囲に物を置かないでください。映像に影が映り込む恐れがあります。
- ・フロント・リアともに、ガラス面やレンズ表面は常に清潔に保ってください。
- ・反射や屈折により、記録映像が見えにくくなる場合があります。

■アイドリングストップ車について

- ・アイドリングストップ機能付き車両では、エンジン再始動時に電源が一時的に遮断される場合があります。
- ・電源が遮断されると録画が停止することがあります。
- ・必要に応じて、常時電源への接続をご確認ください。

■microSDカードについて

- ・本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCカードに対応しています。
- ・安定した録画のため、1～2週間ごとの定期的なフォーマットを推奨します。
- ・microSDカードは消耗品です。長期間使用すると保存機能に不具合が生じる可能性があります。
- ・記録データの損傷・消失について、当店は一切の責任を負いません。
- ・信頼性の高いメーカー製のカードをご使用ください。

MEMO

- (A) 液晶タッチスクリーン
- (B) レンズ〔角度変更可能〕
- (C) スライド機構
- (D) 取付固定具
- (E) ヒートシンク
- (F) USBポート
- (G) リアカメラ用ジャック
- (H) microSDカードスロット
- (I) GPS用ジャック
- (J) 電源／切替ボタン



製品
外観



■ 内容物



リアカメラ + リアカメラ用ケーブル



アクセサリソケット電源プラグ



取付バンド



リアカメラ取付キット
(リアカメラ取り付け板 + 固定ネジ)



GPSアンテナ

■ microSDカードの挿入と取り出し

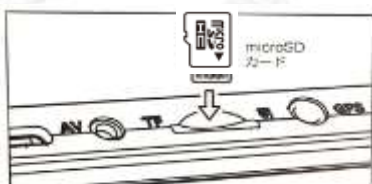
・本製品の電源がOFFの状態を確認してから、microSDカードを挿入してください。

※microSDカードの向きに注意してスロットに差し込んでください。

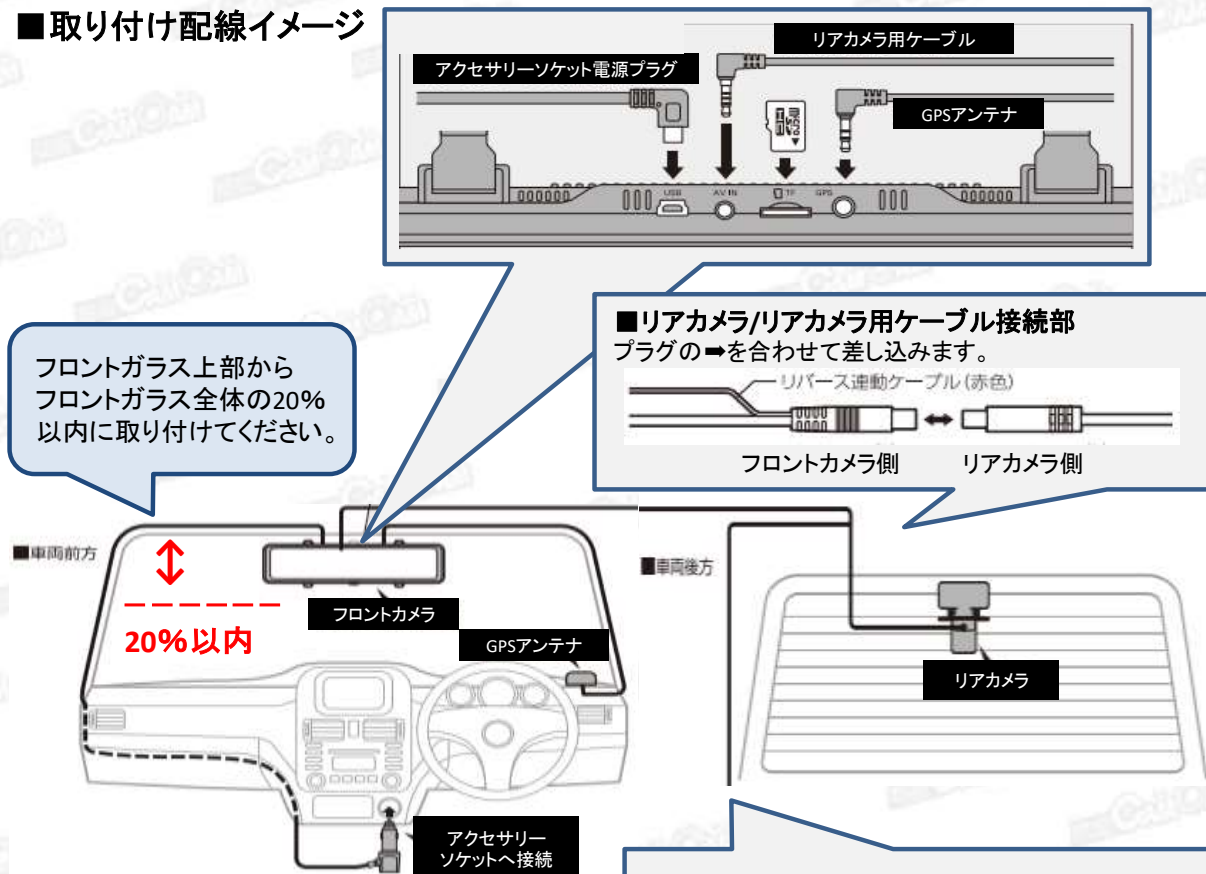
※カチッと音がするまで差し込んでください。

・本製品の電源がOFFの状態を確認してから、microSDカードを押し込み、少し飛び出してから引き抜きます。

※microSDカードの飛び出しにご注意ください。



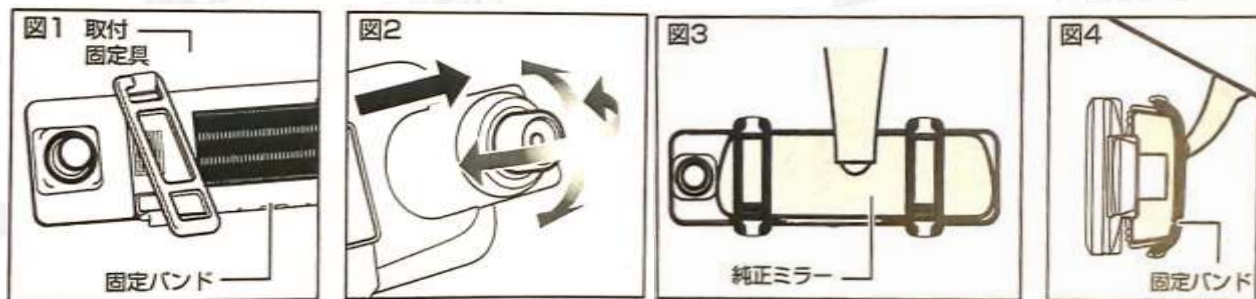
■取り付け配線イメージ



※取り付け配線イメージはあくまでも一例です。
お客様の車種に合わせて配線をおこなってください。
※配線作業や本製品を取り付ける前に必ず、フロントカメラ、リアカメラなど全ての部品を仮接続して正しく動作するかを確認してください。
※本製品は、車内取り付け専用です。
※リアカメラやリバース連動ケーブルの配線作業時には、バックドアやトランクをゆっくり開閉して配線が引っ張られたり、挟まれないことを確認してください。

リバース連動ケーブル(赤色)バックランプの+配線に接続。
※詳しくは、P10の「リバース連動ケーブルの接続」をご参照ください。
本製品と車のバックギアを連動させてご使用する場合には配線をおこなってください。配線作業には市販のエレクトロタップなどを使用し、お客様の責任のもとおこなってください。
※車のバックギアと連動させないで使用する場合は配線作業は不要です。
※車のバックランプ配線については、自動車メーカーおよび自動車販売店にご確認ください。

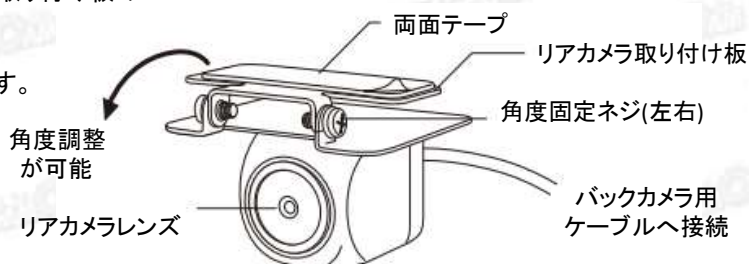
■フロントカメラの取り付け方法



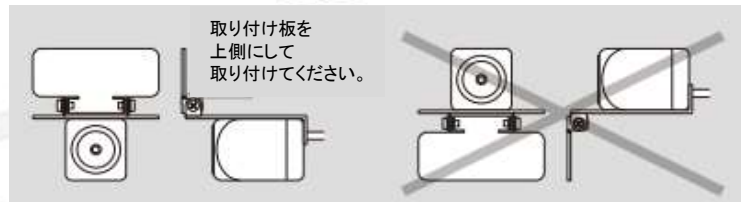
1. 固定バンドを取付固定具の上側に引っ掛けます。(図1)
2. フロントカメラは横方向に引き出すことができます。純正ミラーの形状など必要に応じて引き出してください。
また、カメラ部分は上下左右に角度調整ができます。(図2)
3. 純正ミラーを挟み込んで固定バンドを純正ミラーの後ろから取付固定具の下側に引っ掛けます。(図3)
4. もう一つの固定バンドも同じ方法で取り付け、本製品の位置を調整してください。
※フロントガラス上部からフロントガラス全体の20%以内に取り付けてください。
5. 本製品が確実に固定されることを確認してください。(図4)
本体が水平を維持するように取り付けてください。
本製品のミラーで後方がしっかり見えることを確認してください。
運転方の前方視界を妨げない位置に取り付けてください。

■リアカメラの取り付け方法

1. 取り付けや配線作業前に必ず液晶モニターでリアカメラの映像を確認してください。
2. リアカメラ取り付け板貼り付け位置の汚れや油分を拭き取ってください。
3. 取り付け位置に養生テープ等のはがしやすいもので仮止めをし、詳細な位置を決めます。
※取り付け位置が確定してから、リアカメラ取り付け板の両面テープで貼り付けてください。
4. 本体のカメラ入力端子(AV-IN)に専用リアカメラケーブルのプラグを接続します。
5. 車内にリアカメラのケーブルを配線します。



※リアカメラは車内取り付け専用です。
絶対に車外には取り付けないでください。
※ハッチバックやトランクなどゆっくり開閉して配線が引っ張られたり、挟まれないことを確認してください。ケーブルが引っ張られる場合は、余分にたるませて引き回してください。



※リアカメラの角度調整は固定ネジを緩めて、リアカメラ取り付けベースをしっかりと支えながらおこなってください。
リアカメラ角度調整後には角度固定ネジを締めてください。
※カメラレンズには触れないようにしてください。レンズ部が曇りや傷がつき映像が記録できなくなります。
レンズ部のお手入れには市販のレンズクリーナーをご使用ください。

■GPSアンテナの取り付け方法

1. 取り付けや配線作業の前に、必ずGPSアンテナの受信状態をご確認ください。
2. GPSアンテナの貼り付け位置の汚れや油分を拭き取ってください。
3. GPSアンテナのプラグをGPSユニットの接続ソケットにしっかり差し込んでください。
4. GPSアンテナ本体は、液晶モニターから距離を取り、ダッシュボード上などの平らで水平な場所に取り付けてください。
5. GPSアンテナ本体の底面にある両面テープを使用して、しっかりと固定してください。

※GPSアンテナは防水防塵構造ではありません。絶対に車外には取り付けないでください。

※テレビやラジオアンテナ近くに取り付けないでください。
GPS電波の妨げになったり、テレビやラジオの音声の乱れの原因になります。

※フロントガラスが熱反射ガラスや断熱ガラスなど電波を遮る構造である場合にはGPSアンテナの受信感度が低下する場合があります。



■アクセサリソケットへの接続

1. microSDカードを挿入したフロントカメラに、リアカメラ、GPSアンテナ、アクセサリソケット電源プラグのコネクタを接続しアクセサリソケット電源プラグを車両のアクセサリソケットに接続してください。
2. 車両のアクセサリソケットが通電状態の場合、本製品の電源が自動的にONになり記録が開始されます。
3. 車両のアクセサリソケットが通電しない状態の場合は、本製品の電源はOFFになります。



※本製品は国産車専用です。輸入車で使用され、トラブルが発生しましても当店では一切の責任を負いかねます。
※車載専用・指定電圧以外での使用は、発熱・発火・感電・故障の原因となるためおやめください。
※お手入れの際は必ずアクセサリソケットから抜いてください。感電や故障の恐れがあります。
※使用前にソケット内のゴミやホコリを確認してください。異物は通電不良や火災の原因になります。
※使用直後は電源プラグが高温になることがありますので、触れないでください。

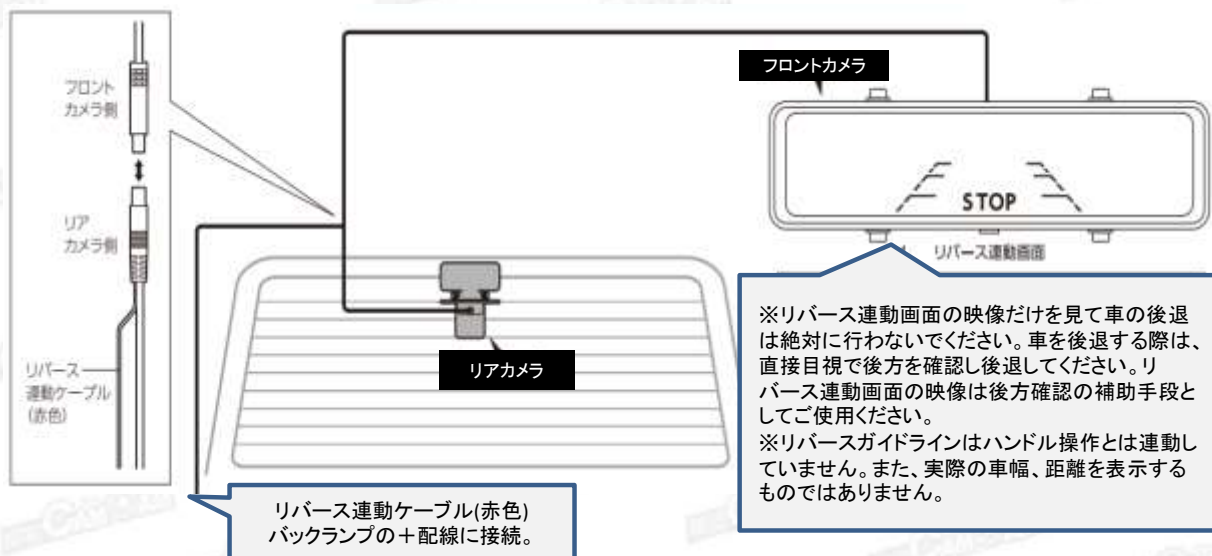
■リバース連動ケーブルの接続

リバース連動ケーブルを車のバックランプ+に接続すれば、車のギアをリバースに入ると、液晶モニター表示が自動的にリバースガイドラインを表示したリアカメラの映像に切り替わります。

本製品と車のバックギアを連動させてご使用する場合には配線をおこなってください。お客様の責任のもとでおこなってください。

※車のバックギアと連動させないで本製品を使用する場合は配線作業は不要です。

※車のバックランプ配線については、自動車メーカーおよび自動車販売店にご確認ください。



■電源ON/OFF 液晶モニター/アイコン

1. 車両のアクセサリソケットが通電状態になると、本製品の電源が自動的にONになり起動画面が表示された後、しばらくすると液晶モニターにバックカメラ映像とメイン画面が表示され同時に前後カメラの録画が開始されます。

2. 車のアクセサリソケットが非通電状態になると、本製品の電源が自動的にOFFになります。



※操作アイコンは、操作をしない状態が約5秒継続すると、自動的に非表示になります。

※操作アイコンを表示させる場合には、液晶モニターをタッチしてください。

【A. 録画中アイコン】

録画中は赤が点滅し、赤色で経過時間を表示。
録画していないと表示されません。

【B. 解像度】

設定解像度を表示

4K→1920×1080

2K→1440×1080

1080p→1280×720

※4K・2Kでは撮影されません。

【C. 時刻 / 日付表示】

手動で設定してください。

【D. 方角】

GPSが正常に受信されると方角が表示されます。

【E. 速度】

運転中の走行速度。

【F. 輝度設定アイコン】

左右にフリックして明るさ調整。

【G. ホームアイコン】

タッチでホーム画面へ。

【H. 録画開始 / 停止アイコン】

タッチで録画開始/停止を行います。

【I. 静止画面アイコン】

タッチでフロントカメラの静止画を撮影。

【J. ロックアイコン】

録画中のファイルをロックして保護。

【K. 操作音 ON/OFF】

タッチで操作音の切り替え。

【L. アイコン一覧】

起動された機能



録画中



録画停止中

■ホーム画面

液晶モニター(P10)の、【G. ホームアイコン】をタッチすると、下記画面に切り替わります。



「GPS」

「GPS」アイコンをタッチすると、GPS画面に入ります。周囲の衛星電波の受信状況を確認することができます。

(4個以上が必要)

●ご使用する前に、必ず日付と時間を設定してください。

①

① 液晶モニターに戻る。

②

② 写真撮影画面へ。

録画を停止して画面を切り替えます。



アイコンをタッチして
写真を撮影します。

③

③ 動画再生画面へ。

録画を停止して画面を切り替えます。

前の
ファイル



次の
ファイル



再生/
一時停止

設定

■設定画面 ④をタッチして設定画面へ。

変更したい設定項目をタッチして設定を行ってください。



【スピードユニット】 KM/H MP/H

【スピードエラーの微調整】 -6 KM/-4 KM/-2 KM/+0 KM/+2 KM/+4 KM/+6 KM

【タイムゾーン設定】 使用する国のタイムゾーンを選択します。・UTC/GMT+9 = 日本時間(初期設定)

【ストリーミングメディア】 全面/後ろに/大小する前に/大小の後/等しい

【音量】 0/1/2/3

【録画解像度】 録画時の解像度を設定します。

4K→1920×1080 2K→1440×1080 1080p→1280×720 ※4K・2Kでは撮影されません。

【写真画質】 写真を撮る時の解像度を設定します。

12M(4032×3020) 10M(3648×2736) 8M(3264×2448) 5M(2592×1944) 3M(2048×1536) 2M(1920×1080)

【ループ録画設定】 1ファイルあたりの録画時間を設定します。 1分間 / 2分間 / 3分間

【露出補正】 +2/3 +1/3 +0.0 -1/3 -2/3 -1.0 -4/3 -5/3 -2.0

【夜間録画】 暗視機能 オフ/オン

【動き感知】 オフ/オン

【録音スイッチ】 オフ/オン

【重力センサー感度】 車両への衝撃を検出する感度を設定できます。 オフ / 高い / 中 / 低い

【駐車監視】 駐車中の衝撃を検出する感度を設定できます。 オフ / 高い / 中 / 低い

※駐車監視機能の有効化には、専門業者による配線の施工が必要です。

【言語】 表示言語を設定できます。 簡体中文 / 繁体中文 / 日本語 / English...

【自動スクリーンオフ】 液晶画面の表示時間を設定します。 オフ / 1分間 / 2分間 / 3分間

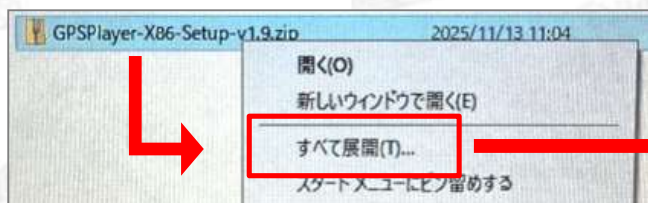
【輝度調節】 高い / 中 / 低い

【日付/時間】 日付/時間の設定を行います。 ※GPSユニット接続時は自動設定されます。

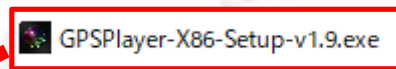
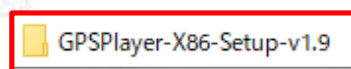
【SDカードフォーマット】 いいえ / はい

【出荷前にリセット】 設定を初期化できます。 いいえ / はい

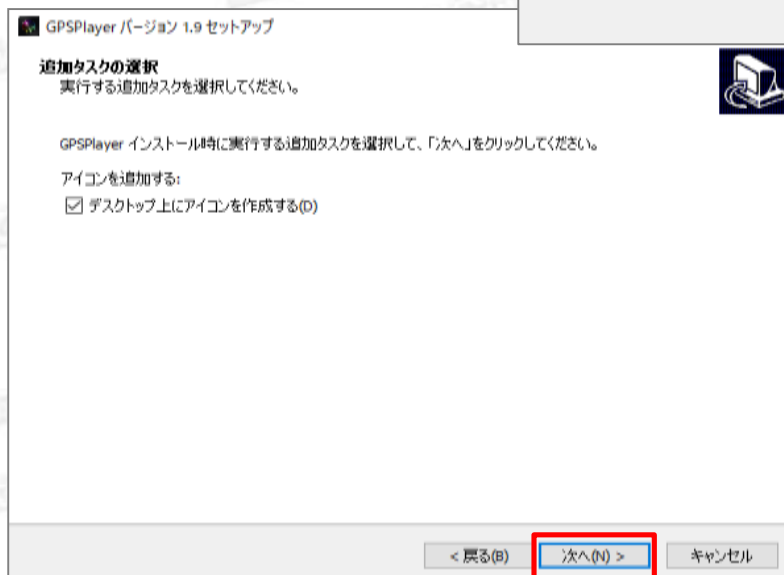
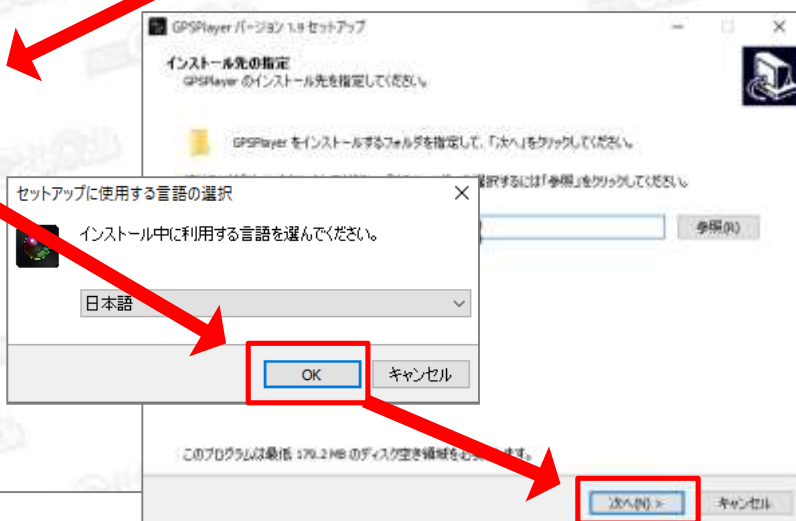
■再生ソフトのインストール



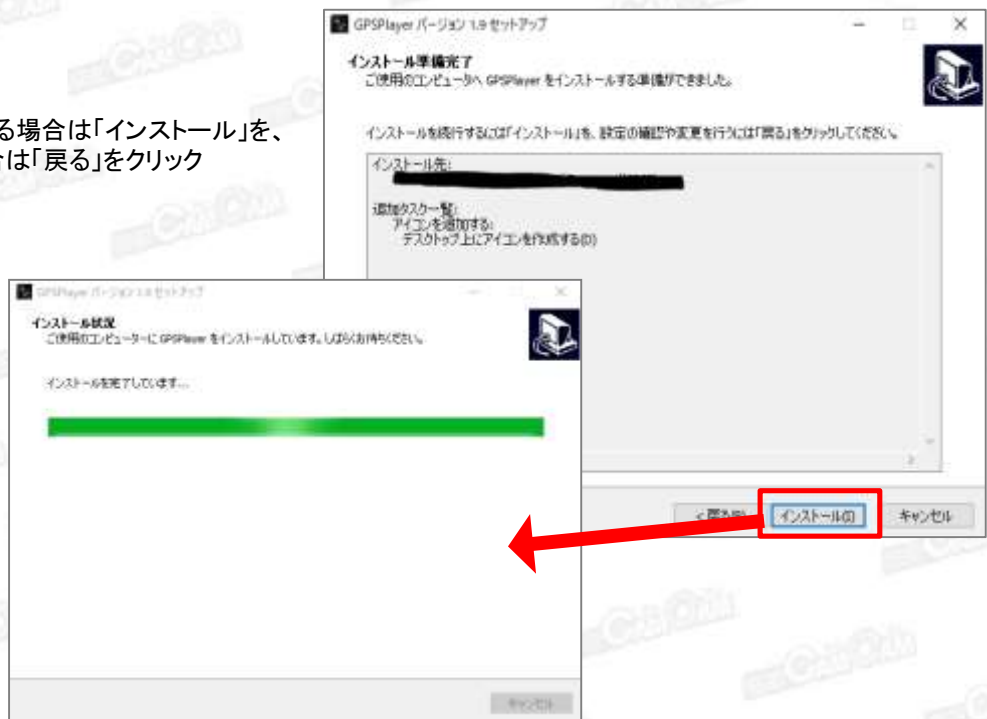
1. 説明書ページにある、
圧縮ファイル「GPSPlayer-X86-Setup-v1.9」を任意の場所に
保存します。
2. 保存したファイルを右クリック→「すべて展開」を選択します。
3. 任意の保存先を選び、「展開」をクリックします。



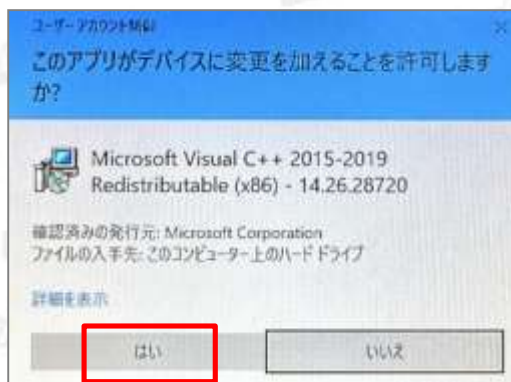
4. 解凍されたフォルダ「GPSPlayer-X86-Setup-v1.9」を開く
5. 「GPSPlayer-X86-Setup-v1.9」をクリック
6. 「現在のユーザー用にインストール(M)(推奨)」をクリック
7. 「日本語」を選択して「OK」→任意の保存先を選択し「次へ」
8. デスクトップ上にアイコンを作成する場合はチェックを入れ、「次へ」



9. インストールを実行する場合は「インストール」を、
設定の変更を行う場合は「戻る」をクリック



10. インストールを完了しています...の画面が表示された後、
・このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？→「はい」
・この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？「いいえ」をクリック



11. 「完了」をクリックして、
インストール完了。

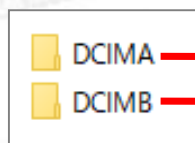
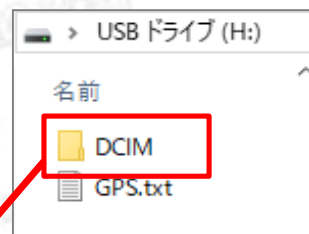


■通常録画の再生方法(Windows等パソコンでの再生)

1. 本体のmicroSDカードをパソコンに接続します。
※フォルダー名やファイル名は変更しないでください。
2. パソコン上で、microSDカードが表示されたドライブを開き、「DCIM」フォルダーを選択します。
3. 「DCIM」フォルダー内には以下のフォルダーがあります。
 - 「DCIMA」フォルダー: フロントカメラの録画映像
 - 「DCIMB」フォルダー: リアカメラの録画映像
4. 再生したい映像ファイルをダブルクリックすると、再生が始まります。

【ご注意】

- ・ファイル名やフォルダー名を変更すると、正常に再生できなくなる場合があります。
- ・録画ファイルは、できるだけパソコンにコピーしてから再生してください。
そのままmicroSDカード上で再生すると、ブロックノイズの発生や再生不良の原因となることがあります。
- ・映像が表示されない、音声がでない、フリーズするなどの不具合がある場合は、「GOM Player」または「VLC Media Player」などの再生ソフトをご利用ください。



フロントカメラ録画映像

リアカメラ録画映像

■GPS記録付き映像の再生方法(専用ソフト「GPSPlayer」を使用する場合)

1. 本体のmicroSDカードをパソコンに接続します。
※フォルダー名やファイル名は変更しないでください。
2. あらかじめインストールした専用ソフト「GPSPlayer」を起動します。
3. 下の図「(G)」アイコンをクリックし、microSDカードのドライブを選択後、「DCIM」フォルダーを開いてください。
4. 「DCIM」フォルダー内には以下のフォルダーがあります。
 - 「DCIMA」フォルダー: フロントカメラの録画映像
 - 「DCIMB」フォルダー: リアカメラの録画映像
5. 再生したい映像ファイルをダブルクリックすると、再生が始まります。

【ご注意】

- ・ファイル名やフォルダー名を変更すると、正常に再生できなくなる場合があります。
- ・OpenStreetMap上に走行経路を表示するには、再生前にインターネットに接続しておく必要があります。
- ・GPSアンテナを正しく接続し、正常に受信された状態で録画されたファイルのみ、「(C)」が表示されます。



- (A) 動画表示 (B) 設定 (C) 地図 [走行経路] (D) 現在時刻 / 合計時間
 (E) 速度 (F) 経度緯度 (G) ファイルを開く (H) 前のファイル (I) 再生
 (J) 一時停止 (K) 次のファイル (L) 動画の拡大 / 縮小 (M) 動画音量
 (N) 速度メーター (O) 方位磁石 (P) Gセンサー [加速度センサー]

■保証規定(保証期間:ご購入日より1ヶ月)

必ず、本書を印刷のうえ、パッケージと一緒に保管してください。

万一不具合が発生した場合は、ご注文番号・ご購入者様のお名前・不具合の詳細を明記のうえ、必ず事前にメールまたはお電話にてご連絡をお願いいたします。

ご連絡なく商品を送付された場合は、ご対応いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

なお、修理後の保証期間の延長はございません。

● 保証期間内に、本書記載の注意事項をお守りいただいたうえで、正常な使用状態において万一故障が発生した場合は、製品をお預かり後、修理または交換にて対応いたします。

ただし、本製品の不具合に起因する本製品以外の損害・工賃・費用・データ損失等については一切の補償をいたしかねます。

なお、代替品の提供や貸出等の対応はいたしかねます。

● 以下のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

- 1) 本製品(保証対象品)と本書およびパッケージの提示がない場合。
- 2) 本製品の注意事項や本書記載の内容をお守りいただいていない場合。
- 3) 個人売買や正規販売店以外でご購入された場合。
- 4) 地震・火災・落雷・台風などの天災により故障した場合。
- 5) ご購入後、落下や衝撃などの事象により故障した場合や水没、汚れにより故障した場合。
- 6) 製品を改造された場合。
- 7) 健康被害が生じた場合。
- 8) 本製品や付属品を紛失・破損された場合。

● 本製品は日本国内での使用を前提としており、海外での使用による故障・損害については一切の責任を負いかねます。

● 本製品は国産車(右ハンドル・四輪車・DC12V/24V)専用です。それ以外の車両での使用による不具合・損害についても責任を負いかねます。

● 本製品の使用により事故や法令違反が発生した場合も、一切の補償はいたしかねます。

● microSDカードや両面テープなどの消耗品の故障・損傷も保証対象外です。

● 異物混入・水分付着による腐食・ショート・変形・破損・紛失なども保証対象外とさせていただきます。また、ケーブルを折り曲げたことによる断線も対象外となります。

● お預かりした製品が保証対象外と判断された場合、修理費用・送料等の実費をご請求させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

● 本保証は日本国内のみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....